

平成19年6月28日

報道関係各位

日本ミルクコミュニティ株式会社

平成18年度業績について

1. 概況

平成18年度は、中期三ヵ年経営計画（MRP）の初年度として、7つの中期経営方針に基づくアクションプランの着実な実践と、ローコスト・オペレーションによるコスト低減の推進により利益計画を達成しました。

(1) 売上高

単位：百万円、%

	実績	計画比	前年比
白物飲料	85,801	94.6	95.4
色物飲料他	133,751	99.3	101.6
合計	219,552	97.4	99.1

(2) 利益

単位：百万円、%

	実績	計画比	前年比
営業利益	3,023	134.4	74.9
経常利益	3,069	135.4	74.0

- ・ 売上高においては、大型新商品「ナチュレ恵」の投入や、野菜系飲料などの新商品・改良品が寄与したものの、牛乳消費の漸減や上期の全国的な天候不順の影響による清涼飲料等の売上減をカバーできず、通年では前年・計画ともに下回りました。
- ・ 利益面では、MRP施策に基づき、積極的なコミュニケーション投資・設備投資・システム投資を行った結果、前年を下回りましたが、ローコスト・オペレーションの徹底により、計画は上回りました。

- ・ 白物飲料では、平成18年5月にプレミアムタイプの「牛乳が好きな人のメグミルク」を全国展開し牛乳の売上拡大を図った結果、既存の「メグミルク牛乳」とあわせて、売上は180億円、メグミルクブランド牛乳としては、前年比109%の伸長となりました。しかし、牛乳全体では、市場の低迷を受け、売上は630億円、前年比94%となりました。一方「毎日骨太」「しっかり飲める特濃4.4」が好調に推移し、白物乳飲料は前年を上回りました。
- ・ 色物飲料他では、「雪印コーヒー」が好調を維持したほか、健康志向を反映して「健康菜園シリーズ」をはじめとする野菜系飲料が大幅に伸長し、清涼飲料等の落込みをカバーしました。また、3月に発売した「ナチュラル恵」の好調により、プレーンヨーグルトが前年を大幅に上回ったほか、ソフトヨーグルト、デザート類が好調に推移しました。

2. 平成19年度計画について

平成19年度も、引き続き厳しい経営環境が予想されますが、積極的な新商品の投入や、5月に発売した「メグミルク牛乳」の育成・定着を図り、MRP施策に基づくアクションプランを着実に実践することで目標売上・目標利益の達成を目指します。

【平成19年度計画】

単位：百万円、%

	金額	前年比
売上高	219,874	100.1
営業利益	2,670	88.3
経常利益	2,620	85.4

3. 「メグミルク牛乳」の動向について

既存の「メグミルク牛乳」とプレミアムタイプの「牛乳が好きな人のメグミルク」を一本化し平成19年5月8日に全国発売した「メグミルク牛乳」は、発売後1ヶ月で前年比115%と好調に推移しています。今後も継続的に販促活動やコミュニケーション投資を行い、牛乳消費拡大に寄与できる商品に育成してまいります。

以上

本件に関する報道機関からのお問合せ先	
日本ミルクコミュニティ株式会社	
コミュニケーション部広報チーム	
電話	03-3359-5126
FAX	03-3359-5127